2）日本海区水産研究所能登島庁舎

①　減損を認識した固定資産の種類、場所、帳簿価額等の概要

資産名	種類	場所	帳簿価額（円）
日本海区水産研究所能登島庁舎　土地	土地	石川県七尾市	68,600,000
庁舎外188件	建物		241,666,539
樹木外71件	構築物		88,172,133
揚重設備（電動チェーンブロック）外19件	機械及び装置		23,312,614

②　減損の認識に至った経緯

重点化された研究開発業務を効率的かつ効果的に実施するため、行政刷新会議の「講ずべき措置」及び政独委の「勧告の方向性」等を踏まえつつ策定された第３期中期計画に基づき第３期中期計画期間中の能登島庁舎の廃止が明記され、平成26年３月末をもって廃止したため。

③　減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の主要な固定資産ごとの内訳

減損損失は、全額を損益外に計上しております。

資産名	種類	減損額（円）
日本海区水産研究所能登島庁舎　土地	土地	27,900,000
庁舎外188件	建物	241,666,350
樹木外71件	構築物	88,172,061
揚重設備（電動チェーンブロック）外19件	機械及び装置	23,312,594

④　回収可能サービス価額について

当該資産のうち土地以外の資産については売却する予定がないことから、回収可能サービス価額は使用価値相当額により測定しており、使用価値相当額は研究所の機能を完全に停止しているため備忘価格（１円）として算出しております。また、土地については正味売却価額により測定しており、正味売却価額は専門家による鑑定評価により算出しております。

3）瀬戸内海区水産研究所

①　減損を認識した固定資産の種類、場所、帳簿価額等の概要

資産名	種類	場所	帳簿価額（円）
じょう成池水槽（歩み板階段共）外２件	構築物	愛媛県今治市	2,187,276
	機械及び装置		1

②　減損の認識に至った理由

当事業年度において、経年による老朽化が著しく、今後の使用が見込まれないとの決定がなされたことから減損を認識しております。

③　減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の主要な固定資産ごとの内訳

減損損失は、全額を損益外に計上しております。

資産名	種類	減損額（円）
じょう成池水槽（歩み板階段共）外２件	構築物	2,187,274
	機械及び装置	—

④　複数の固定資産を一体としてサービスを提供するものと認めた理由

これらの資産については、全体で一つのサービスを提供する施設であるため、一体として減損の判定を行っております。

⑤　回収可能サービス価額について

回収可能サービス価額は正味売却価額により測定しており、正味売却価額から処分費を控除し０円として算出しております。

4）水産工学研究所

①　減損を認識した固定資産の種類、場所、帳簿価額等の概要

資産名	種類	場所	帳簿価額（円）
構造、強度総合実験棟外17件	建物	茨城県神栖市	30,100,120
	建物附属設備		5,515,132
	機械及び装置		561,624

②　減損の認識に至った理由

当事業年度において、経年による老朽化が著しく、今後の使用が見込まれないとの決定がなされたことから減損を認識しております。

③　減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の主要な固定資産ごとの内訳

減損損失は、全額を損益外に計上しております。

資産名	種類	減損額（円）
構造、強度総合実験棟外17件	建物	5,375,630
	建物附属設備	984,955
	機械及び装置	100,301

④　複数の固定資産を一体としてサービスを提供するものと認めた理由

これらの資産については、全体で一つのサービスを提供する施設であるため、一体として減損の判定を行っております。

⑤　回収可能サービス価額について

回収可能サービス価額は正味売却価額により測定しており、正味売却価額から処分費を控除し29,715,990円として算出しております。

⑵　使用しないという決定を行った固定資産についての注記内容

1）北海道区水産研究所八雲さけます事業所

①　使用しないという決定を行った固定資産の種類、場所、帳簿価額等の概要

資産名	種類	場所	帳簿価額（円）
北海道区水産研究所八雲さけます事業所　土地	土地	北海道二海郡	23,000,000
庁舎、年齢組成解析室及び渡り廊下外18件	建物		26,259,668
屋外排水設備外４件	構築物		11,963